
自信、高揚、迷走、焦燥、落胆

頭照多髪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自信、高揚、迷走、焦燥、落胆

【Zコード】

Z3441P

【作者名】

頭照多髪

【あらすじ】

ひとりぼっちの男の子

怯えてるだけなんだ、笑うのが恐いんだよ。
人の前で明るくするのが恐いんだ。

でも大丈夫、僕の前なら。

心を閉じないで、思い切り笑ってごらんよ。
誰も君を傷つけたりやしない

「笑う事、怯える事、愛する事、そうそれは
人として自然な事なんだ。
恥ずかしがる事はないさ。
人はみんな、そうやって生きている。」

彼女が笑うようになった、僕の前で心良く。
今日は何を話そう……？鼓動が高鳴る。頭のなかがごちゃごちゃだ。
結局一人で考え込んで、何も話せなかつた。
ああ、僕は君に恋してるんだ。

「笑う事、怯える事、愛する事、そうそれは
人として自然な事なんだ。
恥ずかしがる事はないさ。
人はみんな、そうやって生きている。」

君と出会ってずいぶんとたつた。
でも、未だに僕は君に言えてない。
「好きだ」つて。

また会おうね

そう言つて今日も別れた。

いつしか君には大切な人が出来た。

僕ではない人が出来た。

それは仕方が無い。

想いを伝えるのをためらつて怯えていたんだから。

「笑う事、怯える事、愛する事、そうそれは人として自然な事なんだ。

恥ずかしがる事はないさ。

人はみんな、そうやって生きている。」

おそらく僕は滑稽に見えるだろ？

君に伝えるのを恐れ、心を閉ざし

怯えて震えていたのは

僕自身だったんだ。

たようなら

そう言って今日は別れた

(後書き)

内気な男はつまらない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3441p/>

自信、高揚、迷走、焦燥、落胆

2010年12月6日17時27分発行